

# ★ 尚 学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/honjuku/>

1月 

令和6年1月9日

横浜市立本宿小学校

## 節目があるから、強く、しなやかになる

校長 松比良 聡夫



「竹は中が空洞だが『節』があるので強く、しなやかである。物事の大事な区切りを『節目』というが、『節目』を大切にすることで、気持ちを新たに前向きに明るく過ごしていける。」  
年末の朝会で、子どもたちに話した内容です。一年間の『節目』も大切にして、新たな目標や計画を立てて、今年も前向きに過ごしてほしいと思います。

新年、あけましておめでとうございます。1月には、PTAと学校の共催の梧桐ウイーク（梧桐祭）があります。PTA各委員会の皆様からの楽しい企画があり、子どもたちはとても楽しみにしています。学年委員さん恒例の『謎解き』は難しい問題で、夢中になったり友達と相談したりしながら取り組むことと思います。読み聞かせボランティアからの企画もあり、学校が活気に満ちる一週間となりそうです。

学校としては梧桐ウイークに『歌や合奏、ダンスで発表しよう』、『他学年の友達や保護者、地域の方と一緒に活動しよう』、『学習してきたことを発信・発表しよう』という学年・クラブの思いの高まりとともに、保護者の皆様にも参観していただく学習活動を設定しました。

昔の『学習発表会』とは違い、『発表のため』に時間をかけて準備をするのではなく、今までやってきたことを見ていただいて、子どもたちと保護者や地域の方々、教職員が一緒に楽しめればと思っています。そして、様々な人が集い、触れ合い、知り合う機会になれば、子どもを取り巻く環境がよりよくなると思います。梧桐ウイークの後には、学年の『節目』に向かって今年度の振り返りをして、新年度への意欲を高めて参ります。

子どもたちを楽しませてくださることや、このような活動の機会を与えていただけることに、心から感謝申し上げます。

新年という『節目』にあたり、令和6年も保護者・地域の皆様との連携を様々な機会を通してより強めて、子どもたちを温かく育てていきたいと思っています。

本年もよろしくお願い申し上げます。

